

# おはこぎ通信

平成28年1月23日発行

【発行】

NPO法人釜石東部漁協管内復興市民会議

(通称:NPOおはこぎ市民会議)

〒026-0303 釜石市箱崎町 10-9

釜石東部漁業協同組合内

## 【NPOおはこぎ市民会議とは】

釜石東部漁協管内の8地区(両石・根浜・箱崎・片岸・白浜・室浜・桑の浜・仮宿)の有志が連携して「100年先を見据えた安心安全な復興まちづくり」「持続可能な地域のまちづくり」を目的として設立されたNPO法人です。

## 市道箱崎半島線の工事状況を視察しました！

NPOおはこぎ市民会議は、現在、市が工を進めている「市道箱崎半島線」の工事状況について、市のご協力のもと、昨年12月19日(土)に視察を行いました。

「市道箱崎半島線」は、災害発生時に半島部の孤立を防ぐとともに、地区の復興と今後の発展に寄与する「命の道」として、大きな関心と期待が寄せられています。

しかし、様々な事情から工事の進捗が遅れていることに懸念する声が高まっていました。そこで、当NPOでは、昨年4月に実施した1回目の視察に続いて、地域の方々に呼びかけて、工事の状況を視察することにした訳です。

視察箇所は、恋の峠付近と根浜地区の工事現場、さらに土地譲渡に同意しない地権者の土地周辺でした。現場では、市の建設部の担当者から詳しい説明を受けました。工事現場の状態は、昨年4月の視察時よりも、はっきりと道路の形態を確認でき、今後の進捗に期待が持てました。

視察終了後は、釜石東部漁協組合の会議室で意見交換会を行いました。

市側から、田中副市長、洞口建設部長以下関係職員や工事関係者が多数出席して、地域住民の本工事に対する大きな期待に応えようとする姿勢が現れていました。まず、市から詳細な工事状況と今後の見通しについて説明がありましたが、特に、建設部長から、土地収用の対象になっていた地権者が土地の譲渡に応じたので、懸念されていた工事の障害がなくなり、土地の課題は、強制収用することなく解決できたので、今後の工事は順調に進展するとの報告がありました。参加者からは、土地収用が長引くのではないかと不安が払拭されたことへの安堵の声が出ました。また、参加者から、各地区の実状説明や切実な要望が出され、市はこれに誠意をもって応えていました。

私たちにとってかけがえのない「命の道」づくりは、地域住民と行政民の緊密な協働体制がなければならないことを強く実感した一日となりました。



【恋の峠付近工事現場視察】説明をする洞口建設部長



【根浜地区工事現場視察】



【釜石市との意見交換会】挨拶する田中副市長

# 「早春を彩る寄せ植え」に参加者大喜び！

1月16日(土)、NHK「趣味の園芸」講師を務める大出英子さん(東京農業大学講師)が、NPOおはこざき市民会議と都市農地活用支援センターの後援で、昨年7月に続いて、2回目の園芸指導(ボランティア)を田郷仮設A団地の談話室で行いました。

早春を彩る寄せ植えの花は、シクラメン、プリムラ、ビオラの可憐で美しく寒さに強い花でした。厳しい仮設住宅の生活に和みと華やかさを演出してくれること間違いなしです。大出さんの優しい指導のもと、参加した31人の方は、ワクワクしながら一足早い春を自分の手で創り出し、大喜びでお家に持ち帰りました。



【寄せ植えを楽しむ参加者のみなさん】

## 漁業体験ツアー「ホタテの貝殻洗浄」実施

1月17日(日)、箱崎漁港で「ホタテの貝殻洗浄体験」を行いました。

天候は、幸運にも穏やかな海と暖かい天候に恵まれ、市内外から集まった参加者達の楽しげな声が箱崎の浜を賑わわせました。

当日朝、箱崎漁港に集合した体験者5名は、早速講師の植田勝雄さん(NPO理事、地元漁家さん)の案内で船に乗ってホタテやワカメ、ホヤの養殖棚を見学しました。そして、陸に戻るといよいよホタテの貝殻洗浄体験です。

ホタテの貝殻洗浄とは、養殖中にホタテの貝殻表面に付着した小さな貝やフジツボなどを専用のナタではたき落とすという出荷の為に必要な工程の一つで、様々な部分が機械化されてきた今日でも欠かせない大切な手作業の一つです。植田さんや、同じく講師の荒屋正明さん(NPO理事、地元漁家さん)の指導のもと、初めての洗浄作業を体験すると、次はお待ちかねの試食・交流タイムです。

たった今自分で洗浄したばかりのホタテや獲れたてのホヤ、ワカメなどを皆思い思いにいただきました。体験者の佐野さんは「浜焼きホタテの汁をホタテのお刺身にかけるとおいしいかも！」とユニークな発想で海の幸を堪能、同じく体験者の大出さん(東京)は「こんなにホヤがおいしいものだったなんて！」と新鮮な素材の味を噛みしめるなど、大変にぎやかな交流の時間となりました。また、交流の中で小川原泉さん(NPO理事、釜石東部漁協組合長)は「こうした体験は口コミがとても大切、是非みなさんお友達にも今日の事を伝えてあげてください」と想いを語り、皆熱心に耳を傾けていました。

こうして楽しい時間は過ぎていき、あっという間の3時間でしたが、ホタテやワカメが詰まったお土産袋を持った体験者たちは最高の笑顔で浜を後にしました。帰りがけに体験者の齊藤さんは「本当に素晴らしい体験で、必ずまた来たいし、今後は一緒に体験を創り上げるようなこともしたい」と語ってくれました。



【専用のナタでホタテの貝殻洗浄を体験する様子】



【お待ちかねの試食・交流タイム！】



【また参加したいと語ってくれた参加者の方々】

### 次回の漁業体験ツアー

2/21(日)に「ワカメの早採り体験」を企画しています。しゃぶしゃぶの味は、この三陸でなければ体験できません。この機会に是非ご参加ください！

お申込み・お問い合わせは、漁業の学舎ホームページ(<http://ohakozaki.com/uminogakko.html>)、または090-1561-1166(担当:下川)までご連絡ください。